

令和4年度 福井県立若狭東高等学校 学校関係者評価書

(問)

- ・ 学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
- ・ 成果と課題をふまえた今後の改善策・向上策が適切か。
- ・ 学校教育目標の達成のために、学校評価の方法や内容に改善点はないか。

(意見を聞いた方)

PTA役員：会長1名、副会長4名

同窓会役員：会長1名

(意見欄)

○ 教育課程・学習指導

- ・ 生徒の基本的な学習態度を向上させるために、「五つの心得」を推奨し、意識している生徒の割合を高くできていることに感心しました。
- ・ 年間2回公開授業をされていることについて、客観的な意見をもらったり、新たな気づきがあったりと指導力向上につながるものだと思います。継続して取り組んでいただきたいです。生徒、教員が共に成長できる学校づくりを望みます。

○ 生徒支援

- ・ 生徒会行事についての満足度が97.2%なのは、高い数字だと感じました。生徒自身が考え、実行し、課題を見つけることは大切な体験です。学校には生徒の自主的な活動を一層支援していただきたいです。いじめは個人やクラスの問題ではなく、学校全体の最重要事項と考えて丁寧に調査や対応をしていただきたいです。
- ・ 遅刻に関して色々な取組みを行ってくださっているので、親としてとても安心できます。学校祭などの行事に関しては、コロナ禍で開催も大変な中で実行していただいたことで、子供達の楽しむ姿を見ることができて良かったです。

○ 進路支援

- ・ 進路が定まっていない生徒には、早い段階でアドバイスや指導をお願いします。
- ・ 学校として、1年生から色々な情報の提供や面談を行っていただきたいです。特に進学に関することはもう少し早めの情報が必要ではないかと感じました。

○ 保健管理

- ・ コロナに関する規制も徐々に緩和されてきてはいますが、引き続き体調の管理を徹底してもらいたいです。
- ・ 生徒の健康管理は、第一に生徒自身が行うものです。そういった指導をよろしくお願いします。学校においては評価書にあるように、サーキュレーターを設置などの感染症対策、また事故防止の環境整備にしっかりと取り組んでいただきたいです。

○ 図書館利用

- ・ 読書指導はさらに推進してほしいです。ICTについては、改善策・向上策に書いてあるとおり新しいソフトウェアの導入と共に生徒・教師それぞれのスキルアップに努めてほしいです。
- ・ ペーパーレスが進んでいく中で、読書の習慣を高校から身につけるのは難しいのではないかと思います。新聞を読む機会があると、世の中のことを知れたりアイデアを得られたりしてとても勉強になるので、ぜひ工夫して活字に触れるように支援してほしいです。

○ 保護者・同窓会との連携

・PTAだよりやホームページを通して、学校活動やPTA活動がよく分かってもらえているのではないかと思います。読んでみたいと思えるPTAだよりを期待します。
・コロナ禍で、集まってPTA活動をする機会が減った中で、「PTAだより等を通じてPTA活動や教育活動の様子がよくわかりました」という肯定的な回答が90%あったということで、発信方法や内容の大切さがわかりました。ホームページも充実しており、よくPRできていると思います。

○ 専門＜農業系指導＞

・アグリマイスター認定者の増加や平板測量競技での受賞を目指して生徒の支援をしてもらいたいです。
・地元のテレビや新聞で、活動面が報じられているのをよく目にしています。幅広い世代へ農業科の活動が伝わっているのではないかと思います。

○ 専門＜工業系指導＞

・資格取得は本人の自信につながり、卒業後にも役立つので、積極的に支援していただきたいです。生徒にはものづくりを通して得られる喜び(人に喜んでもらえること、完成したときの達成感)をたくさん体験して欲しいです。
・資格試験がとても難しいと生徒達は感じています。働き方改革もあり、補習時間等の確保も厳しいかと思いますが、子供達の未来のために手を差し伸ばしていただけるとありがたく思います。

○ 専門＜商業系指導＞

・全商の上位級の取得者増加を目指し、一層の支援をしてもらいたいです。
・意欲的に取り組む生徒が多く素晴らしいと思いました。挨拶や言葉遣いが素敵な生徒がたくさん増えるよう、これからもご指導お願いします。

○ 全体(総括)

・今年の入試志願者数が大きく定員割れしていることが気になりました。農業クラブ活動の全国大会での活躍や専門分野での技術資格の取得・検定試験の受験等積極的な取り組みができていますので、社会に出ていく上でのスキルを学べるという学校の強みを生かして、若狭東高校の特色をアピールしてほしいです。少子化で生徒数が減る中でも、人気が出るような取り組みが必要だと思います。
・これからも伝統ある「総合産業高校 若狭東高」として、専門性や母校のこと、そして自らを誇れる生徒を一人でも多く育成ください。
・生徒をさらに成長させるため、先生方ができる指導や支援をしてくださって感謝しています。ICTの進歩や価値観の多様化など、変化の激しい時代に柔軟に対応して生徒を支援してください。
・小浜市文化会館で開催された『課題研究発表会』では各学科の取り組みが大変素晴らしいことを再認識しました。地域との連携をさらに増やしたり、中学生と交流したりして、若狭東高校の人気が出るよう工夫を求めます。

○ 学校関係者評価を踏まえた今後について

・地域の総合産業高校として、専門性の向上や人間性の育成について地元の強い期待を担っていることが分かった。現状に満足せず、より多くの生徒の成長を促せるよう、関係者評価書を参考に学校一丸となって取り組む。
・保護者、地元住民への情報発信や収集をより密に行い、地域に根ざした学校作りを目指していく。
・農業科をはじめ、多くの大会で優秀な結果を残す生徒が出ている。学科にとらわれず、成果や方法を共有し、多くの生徒が前向き且つ見通して持って活動できるよう支援していく。
・課題が見られる事項については、ICTの活用や教員間の連携を進め、効果的な指導が行えるようにする。